

ロスト・イン・ラ・マンチャ (2001)

LOST IN LA MANCHA

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 アメリカ／イギリス

色彩 Color

時間 93分

初公開日 2003/05/10

公開情報 シネカノン

【キャッチコピー】

悲劇か？

喜劇か？

ジョニー・デップ最新作！ 総製作費50億！ この未曾有の超大作に、一体何が起ったのか！？

【解説】

「未来世紀ブラジル」「バロン」の鬼才テリー・ギリアム監督が長年暖めてきた企画が「The Man Who Killed Don Quixote (ドン・キホーテを殺した男)」。ところがこの映画は撮影6日目にして中断に追い込まれ、脚本は保険会社により差し押さえられてしまう。本作は、そんな世界が目撃した大作のメイキングをつくるためにカメラを回していたクルーが図らずも見届けることとなった製作中断までの経緯を追った“アン・メイキング”ドキュメンタリーである。

テリー・ギリアム監督が次回作「ドン・キホーテを殺した男」の準備に取り掛かったとき、キース・フルトンとルイス・ペペはギリアム監督からメイキングの製作を依頼される。やがて2000年秋、ヨーロッパ資本としてはかつてない規模の本作はついに主演のジョニー・デップをはじめヴァネッサ・パラディ、ジャン・ロシュフォールら出演者が顔を揃え撮影を開始した。ところが、撮影は上空を飛び交うNATOの戦闘機の騒音に邪魔されてしまう。さらに、ロシュフォールの病気降板、豪雨によるセットの崩壊という事態が追い討ちを掛ける。カメラは、映画の完成に執念を燃やすギリアム監督の並々ならぬ情熱を踏みにじるかのようなその悪夢の一部始終を目撃していくのだった。

【クレジット】

監督	キース・フルトン	Keith Fulton
	ルイス・ペペ	Louis Pepe
製作	ルーシー・ダーウィン	Lucy Darwin
脚本	キース・フルトン	Keith Fulton
	ルイス・ペペ	Louis Pepe
撮影	ルイス・ペペ	Louis Pepe
音楽	ミリアム・カトラー	Miriam Cutler
ナレーション	ジェフ・ブリッジス	Jeff Bridges
出演	テリー・ギリアム	Terry Gilliam
	ジョニー・デップ	Johnny Depp
	ジャン・ロシュフォール	Jean Rochefort
	ヴァネッサ・パラディ	Vanessa Paradis
	ベルナール・ブーイ	Bernard Bouix
	ルネ・クライトマン	Rene Cleitman

トニー・グリゾーニ	Tony Grisoni
ニコラ・ペコリーニ	Nicola Pecorini